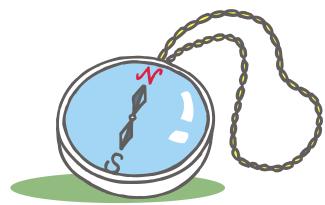


# 羅針盤



第 16 号

令和3年(2021年)9月13日(月)

## ◆ 繼続は力なり

東京オリンピック2020が終了し、すでに1か月以上が過ぎようとしています。競泳女子の大橋悠依選手が女子初の2冠を手にしたことは、皆さんの記憶にも鮮明に残っているのではないでしょうか。彼女の自宅には「大きな夢は 遥(はる) かなる空へ 信じた道を 行(ゆ) けばいい いつか栄光はその手に」と書かれた色紙が飾られているそうです。滋賀県彦根市出身の大橋選手が彦根市立佐和山小学校を卒業した時に、担任の田中岳(たけし)先生から贈られたもので、卒業文集に「水泳で大きな舞台へ」と夢を記した大橋選手に向けたメッセージです。今でも小学校の教壇に立っている田中先生からは、「大橋選手自身が身をもって示してくれた『継続は力なり』を、子どもたちにもしっかりと届けていきたい」といった喜びの声も届けられたそうです。2015年の日本選手権では最下位にまで落ち込んでいた彼女が、平井伯昌(のりまさ)監督の指導のもと、7年半もの間に努力を積み重ねた結果がオリンピックの金メダルに繋がったのでしょうか。田中先生が言われるように、『継続は力なり』は生徒の皆さんにとっての日々の学校生活に置き換えて考えるに値する大事な言葉だと思います。



結果を求めるすぎることで、努力することの大切さを忘れてしまってはいけません。直ぐに結果が出るようなことの方が少ないのでしょうか。日々の行い(練習することや学習すること)を毎日繰り返すこと、継続したその先にこそ自分が求める結果が待ち受けていることを信じて疑わず、そして、結果を残すことができた大橋悠衣選手の頑張りから学ぶべきことがたくさんあると思います。

## ◆ 「お前の物は俺の物、俺の物も俺の物！」

生徒の皆さんもよく知っているとおり、この言葉は、アニメ「ドラえもん」に登場するジャイアンお決まりのセリフです。主人公であるのび太の目線から描かれるジャイアンはいつも理不尽なことばかりです。しかし、この言葉には別の意味があることを皆さん知っているでしょうか。テレビアニメ「ドラえもん」の「ハチャメチャ入学式」というストーリーがあります。ある日、のび太とドラえもんはタイムマシンに乗り、のび太たちの入学式に向かいます。のび太はハプニングに巻き込まれ入学式に遅刻してしまいます。会場に入ったものの誰もいないことで、入学式は終わったと勘違いして、泣きながら学校を出てしまいます。今度は、帰る途中に迷子になってしまい、ランドセルまで失くしてしまいます。学校にいたジャイアンたちは、のび太がいないうことに気づいて探しに行きます。なかなか見つからないうえに雨まで降ってきて、それでもジャイアンは身体を張ってランドセルを取り戻し、のび太を見つけます。のび太が、「ありがとう。でもなんでここまでしてくれたの？」と尋ねると、ジャイアンは「お前の物は俺の物、俺の物も俺の物だ！」と答えるのです。友だちの物も自分の物と同じく大事であると、人の痛みも我が痛みのように感じて全力を尽くすジャイアンの男気あふれる言葉として使われたのです。いつもとは違って心温まる言葉に聞こえるのではないでしょうか。